

■淀川わいわいガヤガヤ祭

概要

防災・安全・環境・歴史・文化・福祉等を考えるきっかけとなるイベントを行うもの。
遊ぶ、学ぶ、食べるというテーマから、様々な催しが行われている。

開催日：5月下旬～6月上旬（令和7年度は6月1日（日）に開催）

開催場所：淀川河川公園鳥飼上地区・下地区

主催：淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会／共催：淀川河川公園管理センター



目的

流域人口が西日本で最も多いとされ、多くの方に知られている淀川を活用し、防災・安全・環境・歴史・文化・福祉等を考えるきっかけとなるイベントを行う中で、右岸流域の市民・団体・事業者などの憩いの場として地域の絆を深めるとともに、地域文化の発展と活性化に寄与することを目的とする。

始まり

平成22年9月に開催された「第4回生涯学習サミット（教育委員会主催）」で、『淀川の自然と河川敷を利用したまちづくり』をテーマとした市民によるグループワークが行われ、その中の一つに淀川河川敷を利用したイベントの提案があり、それが「淀川わいわいガヤガヤ祭」の原型となった。その提案の具現化を生涯学習大学の卒業生で構成する「摂津市まちづくり研究室」が担当することになり、その後、淀川わいわいガヤガヤ祭準備委員会、地域住民を巻き込んで同実行委員会が設置され、イベントが立ち上げられた。

役割分担図

